

国語

学力検査問題

係の「始め」の合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。
左に書いてある注意を静かに読みなさい。

注 意

- 一 下の欄の決められた場所に、校名・受検番号・氏名を書き入れなさい。また別紙の解答用紙Ⅰ及びⅡに受検番号・氏名を書き入れなさい。
- 二 検査問題は、**Ⅰ**から**Ⅴ**までの五問で、10ページまでです。
- 三 検査時間は、五十五分間です。検査開始後、四十五分過ぎたときに、係が時間を知らせます。
- 四 係の「始め」の合図があったら、ページ数を調べて、異状があれば申し出なさい。
- 五 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげなさい。問題内容や答案作成上の質問は認めません。
- 六 答えは、すべて別紙の解答用紙Ⅰ及びⅡの決められた場所に、はっきり書き入れなさい。勝手なところに書いてはいけません。
- 七 係の「やめ」の合図があったら、すぐにやめて、係の指示を待ちなさい。

在学学校名, または, 出身学校名	受 検 番 号	氏 名
学校		

一 次の一から三までの問いに答えなさい。

一 次のアからオまでのの——線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(現代かなづかいで書くこと。)

ア 絵に濃淡をつける。

イ 彼は百年に一人の逸材だ。

ウ この作品は珠玉の短編と評される。

エ 大空を仰ぐ。

オ 水が渦を巻く。

二 次のアからオまでのの——線のひらがなを漢字で書きなさい。(丁寧に漢字だけを書くこと。)

ア 会員としてとうろくする。

イ 飛行機をそうじゅうする。

ウ 体力をおんぞんする。

エ 宿題をすます。

オ クツションにわたを詰める。

三 次のは、高校生になったAさんが中学校の先生に書いた手紙の【下書きの一部】と【清書の一部】である。Aさんが——線部のように書き直した意図として、最も適当なものはどれか。後のアからエまでのの中から一つを選び、その記号を書きなさい。

【下書きの一部】

私は、部活動で仲間と技術を高め合えることにやりがいがあり、日々練習に励んでいます。

【清書の一部】

私は、部活動で仲間と技術を高め合えることにやりがいを感じ、日々練習に励んでいます。

ア 主語と述語の関係に着目し、文の主語を統一しようとした。

イ 修飾語と被修飾語の関係に着目し、不要な情報を除こうとした。

ウ 接続の関係に着目し、伝えたいことを付け加えようとした。

エ 補助の関係に着目し、考えと根拠のつながりを示そうとした。

Aさんが通う中学校では、地域の高齢者の方々を合唱発表会に招待することになった。Aさんたち、生徒会役員八人は、必要な準備について話し合っている。次の【話し合いの一部】を読んで、後の一から三までの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

Aさん 今年の合唱発表会では、地域の高齢者の方々を招待することになりました。今日の話し合いでは、来校された方が安心して過ごせるよう、必要な準備、そして準備の進め方について検討しましょう。

Bさん 来校する方々の中には、車イスを使っている方や足腰が弱い方もいらっしゃるかもしれないので、会場の体育館に段差がないか、トイレが使いやすいかなどを確認する必要があると思います。

Cさん それに加えて、会場内の案内表示も、大きな文字や見やすい色使いなどの工夫があるとよいと思います。受付やトイレ、座席の場所がすぐに分かる、初めて来る方も安心だと思います。

Aさん 今の見の共通点は、来校する方の立場で考えるということですね。その視点から考えていきたいと思っています。

Dさん 案内表示は、体育館の入り口だけでなく、生徒玄関から体育館に続く廊下などにも設置するのが効果的ですか。

Eさん 体育館へは直接入場できるので、生徒玄関から入る必要はないと思います。事前に渡す招待状に入場経路を示しておけば、校内の案内表示はなくてもよいですね。

Fさん 事前の確認も必要ですが、当日の安全面の配慮も必要だと思います。例えば来場者の体調が急に悪くなったときのために、保健室を利用できるようにする必要があります。さらに、ちよつと休憩できる場所があるとよいかもしれません。

Gさん それでは、休憩スペースを設けてはどうですか。椅子を数脚置いて、静かに過ごせる場所があれば、安心感につながると思います。休憩スペースを準備するのは賛成です。ただ、会場に設置すると、合唱を行っているので、落ち着くことはできないかもしれません。保健室の隣の会議室を休憩スペースとして使用すればよいと思います。

Hさん Bさん けれど、私たちだけで会議室の使用を決めることはできないので、休憩スペースについては先生に相談してみてもいいでしょうか。もし、設置が可能ならば、招待状に保健室や休憩スペースについて記載しておくともいいですね。文字だけではなく、イラストや写真を使えば、より分かりやすくなると思います。

Aさん 今、会場の確認、案内表示や招待状の工夫、休憩スペースの設置などの意見が出されていますが、休憩スペースの設置については保留することとします。また、会場の確認については、生徒会役員全員で行いましょう。

Cさん では、案内表示や招待状の内容などの検討が必要ですね。情報が多くても少なくとも分かりにくく、迷う人がいるかもしれません。それならば、会場内に案内係をつくるのはどうですか。声かけや案内をしてもらうともいいと思います。

Gさん それはよい考えですね。

Hさん 受付やトイレには最低二人はいた方がよいですか。

Eさん そうですね。受付とトイレ付近は人の動きが多いから、対応できるようにしておきたいですね。

Dさん いろいろな意見がありますがどう思います。これまでの話し合いで、必要な準備が見えてきました。ただ、検討する時間も限られています。効率よく準備を進めるために、役員全員で話し合うことはせず、
(話し合いは続く。)

一 【話し合いの一部】の——線部の1から4の発言の中で、話題を転換し別の観点から話し合おうとしている発言として、最も適当なものどれか。1から4までのの中から一つ選び、その数字を書きなさい。

二 【話し合いの一部】の——線部のAさんの発言は、話し合いの中でどのような役割を果たしているか。次のアからエまでのの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 意見の内容を系統化して、考えの根拠を示すよう促す役割。 イ 意見の内容の確かさを確認し、まとめに向けて展開を修正する役割。
- ウ 意見の内容を比較し整理して、話し合いの方向性を示す役割。 エ 意見の内容を相互に関連付け、これまでとは異なる話題を示す役割。

三 【話し合いの一部】の□で、Aさんは、これからの準備の進め方について提案をしようとしている。あなたがAさんなら、この部分をどのように話すか。これまでの話し合いを踏まえて、二十字以上、三十字以内で話すように書きなさい。

次の文章を読んで、後の一から五までの問いに答えなさい。（*は注を示す。）

一 **A** に共通して入る言葉は何か。次のアからエまでのの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア あるいは イ しかし ウ むしろ エ たとえば

二 **1** 私たちは、純粹に主観の排除された「**2**」そのものを経験することなどできない。とあるが、次の **1** は、これについて説明したものである。 **B**、**C**、**D** には、どのような言葉が入るか。本文中から **B** は十二字で、**C** は三字で、**D** は六字で、それぞれさがし、抜き出して書きなさい。ただし、字数には句読点等が含まれる。

私たちの脳の中では、これまでに獲得された **B** などが複雑に関係しあいながら働くため、数字を見たり数字について考えたりするときに、数字以外の **C** な感覚と結びついてしまい、 **D** な数そのものを認識できているわけではないということ。

三 **2** 二つの数字の大小を比較するときに、「**2と5**」と書かれるよりも「**2と5**」と書かれた方が、反応速度が遅くなったり、間違いやすくなったりする。とあるが、それはなぜか。「大きさ」という言葉を用いて二十字以上、三十字以内で書きなさい。

四 **3** 人間の脳の中で「空間」と「時間」と「数」にかかわる情報処理が、すでにわかちがたく融合しているのだとしたら面白い。とあるが、作者がどのようなことについて「面白い」と表現しているかを説明したものととして、最も適当なものとはどれか。次のアからエまでのの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 現代数学では「空間」「時間」「数」の概念の統合に長い時間を必要としたが、脳の中では生まれながらにその概念が統合されているという対照性。
- イ 現代数学では「空間」「時間」「数」の分野は共通点をもちながらもそれぞれ独立しているが、脳の中でもそれらは明確に区別されるという同一性。
- ウ 現代数学では研究によって「空間」「時間」「数」が影響し合うさまを知るが、脳の中では無意識のうちにそれらがまじり合っているという対照性。
- エ 現代数学では学問的直観に基づいて「空間」「時間」「数」を研究するが、脳の中でもそれらについては基本的に直観で理解されているという同一性。

(三) は、次のページに続きます。(

五 本文の論理の展開について説明したものととして、最も適当なものとはどれか。次のアからエまでの中から一つを選び、その記号を書きなさい。

- ア 導入部分で、脳内では多くの情報が関連し合っていることを示し、その後具体的に複数挙げながら論の妥当性を補強している。
- イ 脳内で絡み合う要素の具体例に、位置の感覚や身体の動きなどがあるが、すべての具体例が一つあたり二つの段落で説明されている。
- ウ 脳科学が主題であるため、最初に読者の入門的な知識を確認し補足した上で、高度で専門的な研究成果へと話を段階的に進めている。
- エ 序論・本論・結論という段落構成で、内容のまとめりに原因・結果・考察を示しながら、結論への道筋を抽象的に組み立てている。

次の【文章Ⅰ】は、松尾芭蕉の紀行文『おくのほそ道』の一部である。【文章Ⅱ】は、『文章Ⅰ』のいくつかの言葉について説明したものである。これらを読んで、後の一から四までの問いに答えなさい。(点線部は現代語訳を表す。また、*は注を示す。)

四

【文章Ⅰ】

江山水陸の風光数を尽して、今きさがたに方寸を責む。酒田の湊より東北の方、山を越え、磯をつたひ、いざごをふみて、其際十里、日影ややかたぶく比、汐風真砂を吹上げ、雨朦朧として、鳥海の山かくる。暗中に模索して、「雨もまた奇なり」とせば、雨後の晴色又たのもしきと、海人の苦屋に膝をいれて、雨の晴るるを待つ。其朝天よく晴れて、朝日はなやかにさし出る程に、きさがたに舟をうかぶ。先づ能因島に舟をよせて、三年幽居の跡をとぶらひ、むかふの岸に舟をあがれば、「花の上こぐ」とよまれし桜の老木、西行法師の記念をのこす。

粗末な小屋に
歌人の能因法師が

(注) *きさがた…秋田県南西部の地名。当時は入り江で、遠浅の海に島がいくつも浮かぶ景勝地であった。

*酒田…山形県北西部の地名。

*鳥海の山…鳥海山。秋田、山形県境に位置する円錐形をした火山で、形の美しさから出羽富士、鳥海富士と称される。

*能因島…平安時代の歌人である能因法師が過したと伝えられている島。

(松尾芭蕉『おくのほそ道』による。表記は問題用に改めた。)

【文章Ⅱ】

風光は、風景に同じ。三体詩に、今日風光君不見、とあり。きさがた

は羽州由利郡にあり。日本十景のうちにして当国第一の名所佳景の地、

八十八瀉、九十九森ありと言ひ伝ふ。江のかたち、きさに似たり。

故にきさがたと言ふと。(きさとは象の和名なり。)また、蚶瀉とも書く。

蚶は、小さき蝸牛の殻に似たる貝にて、関東の小児のもてあそぶ、

きさごといふ物、これなり。この江至て浅くして、やうやく蚶などの生

ずるのみなれば、かく名づけはべるならし。

このように名づけたようです。

雨朦朧としてとは、詩に、ろうかく
高い建物 桜閣朦朧たり細雨の中、と言ふ風情にて、

朦朧は、円機活法に、日いまだ明かざるなり、と言ふ。物のおぼろに見

ゆる事なり。

花の上こぐとよまれし桜は、干満寺の境内、地藏堂の前の汀に、

水面へさし出てあり。古木は枯れて、今は若木なり。西行の歌に、

きさがたの桜は波にうづもれて花の上こぐ海人のつり舟

(菘笠庵梨一『奥細道菅菰抄』による。表記は問題用に改めた。)

(注) *三体詩……………中国の南宋時代に編まれた、唐代の作品を収めた漢詩集。

*羽州由利郡……………出羽国(羽州)における一地域。現在の秋田県南西部のあたり。

*円機活法……………中国の明時代に、詩を作る人向けに編まれた実用書。

一 つたひ^a を、音読するとおりにすべてひらがなで書きなさい。(現代かなづかいで書くこと。)

二 今日風光君不見^b は「今日風光君見ずや」と読む。この読み方になるように、返り点をつけなさい。

今日風光君不見

三 次の [] は、【文章Ⅰ】で作者が訪れた「きさがた」の地名の由来や、その時の様子について、説明したものである。A、B、Cには、それぞれどのような言葉が入るか。A、Bはそれぞれ漢字一字で【文章Ⅱ】の中からさがし、抜き出して書きなさい。Cは、【文章Ⅰ】【文章Ⅱ】を踏まえて、十字以上、十五字以内の現代語で書きなさい。

きさがたは、入り江の形が動物の A に似ていたこと、また、この入り江で蚌などの B が見られたことから、このように名づけられた。芭蕉が着いた時は、海風が砂を吹き上げる上に、雨も降っており、 C ので、鳥海山はよく見えなかった。

四 次の [] は、【文章Ⅰ】、【文章Ⅱ】からわかることについて説明したものである。Dには、どのような言葉が入るか。二十五字以上、三十字以内の現代語で書きなさい。

【文章Ⅰ】にある「花の上こぐ」とは、【文章Ⅱ】にある和歌のことである。これは西行法師という平安末期・鎌倉初期の歌人がよんだとされている。芭蕉がきさがたの地で、 D 行動から、彼が昔の有名な歌人たちに思いを寄せ、歌人にゆかりのある場所を訪れたいと思っていたことが読み取れる。

五

次の文章を読んで、後の一から六までの問いに答えなさい。（*は注を示す。）



(**五**) は、次のページに続きます。(

一 弾けるように立ち上がった とあるが、このときの「沙月」の様子について述べたものとして、最も適当なものはどれか。次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 少しでも早く子ガメを確認したくて、勢いよく立ち上がった。
- イ 子ガメに会いたい気持ちを抑えて、ゆっくり立ち上がった。
- ウ ティムに自分の感動を伝えようとして、力強く立ち上がった。
- エ ティムの大きな身振りに圧倒されて、あわてて立ち上がった。

二 ¹ そんなことが、本当にあるのだろうか。 とあるが、このときの「沙月」の心情として、最も適当なものはどれか。次のアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア ウミガメを見てきた経験から、ティムが世代を越えた先祖の伝承を頼りに日本に来たと聞いて感動するとともに、驚きも感じている。
- イ ウミガメが生まれた浜に戻るように、人間も遠い祖先の記憶に導かれて戻るという話に疑念を感じながらも、否定しきれないでいる。
- ウ 海に放った子ガメが進む方向を間違えたに違いないと半ばあきらめていたが、話を聞いて戻ってくるかもしれないと期待が生じている。
- エ 人間とウミガメだけでなく、ものも海流にのってハイダ・グワイに流れ着いたことを不思議に思いながらも、どこか納得もしている。

三 ² 「この子たちみんな、勇気ありますね」とあるが、次の は、このときの「沙月」の様子や心情について話し合ったAさんのグループの会話である。
 E、 F にはそれぞれどのような言葉が入るか。 E は本文中から七字でさがし、抜き出して書きなさい。 F は本文中の言葉を使って二十字以上、二十五字以内で書きなさい。

Aさん	この言葉には、沙月の心の中が表れているよね。
Bさん	そうだね。 <input type="text"/> E 「という表現から、心の奥から自然とこぼれた感じを受けるね。」
Cさん	うん。まるで自分自身に言い聞かせているみたい。子ガメの姿と自分を比べて、自分の不安や迷いに目を向けていたんじゃないかな。
Dさん	<input type="text"/> F と思うている自分と比べて、怯むことなく砂浜を懸命に進む子ガメの姿をまぶしく感じていたのかもしれないね。

四 本文中で「佐和」はどのような人物として描かれているか。次のアからエまでのの中から最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 「ウミガメとおんなじやね」「人間も、同じや思うんよ」などの発言から、常に人間の行動をウミガメと重ね合わせていることがうかがえ、ウミガメとそれを取り巻く環境を第一に考え、守ろうとする強い信念をもつ人物。

イ 「へえ、ほうなんやね」「ええの」などの小さなあいづちにも方言を使うことで、姫ヶ浦の人間として生きることへの誇りを感じさせるとともに、国籍や年齢の異なる人々にも方言で話し続ける頑固で自分本位な人物。

ウ 沙月の不安に寄り添ってお守り代わりに手帳を預けようとしたり、目の前のことだけにとらわれず将来を見通した視点に立ってウミガメや人間の生活を考えたりするなど、穏やかな包容力や視野の広さを感じさせる人物。

エ 卵からかえったウミガメを見守る場面で発言をしていないことや、「姫ヶ浦に帰ってきてほしいとは思わらんよ」「カメさんたちが決めること」などの発言から、本来は無口で重要な決定を他者に委ねる優柔不断な人物。

五 ³ さらさらと揺れる光の道 とあるが、この表現にはどのような効果があるか。「沙月」の心情に触れながら、「効果。」へと続くように三十字以上、三十五字以内で書きなさい。

六 本文には、「沙月」が子ガメの姿を見たり「佐和」の話の聞いたりして、他者との関わりの中でそれまでの考えが変わっていく様子が書かれている。他者との関わりの中であなたの考えが変わった出来事は何か。次の1、2の条件に従って書きなさい。(解答用紙Ⅱに書きなさい。)

条件 1 考えの変化を具体的に書くこと。

2 二百四十字以内で書くこと。

(終わり)